

第四回 OECM 勉強会
OECM を“使い倒す”

～試行結果の総評と、生態的・社会的・制度的側面から考える利活用の可能性～

特定非営利活動法人ホールアース自然学校

【概要】

- <期 日> 2023年7月14日(金) 13:00～16:30
- <概 要> 2022年度に環境省により実施された自然共生サイト制度の前期・後期試行を通して見えた課題や可能性に関する総評を行う。またそれらを踏まえ、「生態・社会・制度」等あらゆる側面から OECM の利活用の可能性を考え、「自治体・企業・NPO・個人」等の様々なセクターが各自または協働して OECM を“使い倒す”方法を検討する。
- <会 場> オンライン形式 (zoom を使用)
- <主 催> 兵庫県立人と自然の博物館
常葉大学植生研究会 (浅見研究室)
特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所
特定非営利活動法人ホールアース自然学校
- <定 員> 最大 500 名
- <参加費> 無料

【内容及び登壇者】 (※変更の可能性あり)

①次期生物多様性国家戦略について

【浜島直子氏 (環境省自然環境局生物多様性主流化室/室長)】

OECM を巡る国内外の動向や、30by30 の推進における課題、また資金調達・国際協力・国立公園と連動した観光といった他施策との連動の可能性を紹介する

②自然共生サイトや OECM の多様な活用方法に関する課題と展望

【三橋弘宗氏 (兵庫県立人と自然の博物館/主任研究員)】

自然共生サイトの試行選定の傾向や課題について振り返ると共に、これに関連して想定される OECM のインセンティブの確保や環境アセスメント、福祉、観光、教育、防災、アップサイクルなどの周辺領域との連動と活用方法等の展望について、国内外での活用事例に触れつつ解説する

③ディスカッション

【参加方法】

<お申し込み先>

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZYuf-usr.jsuGNfkaT5BM7f-RnNoXbJv8aJp>

<お申し込み期限>

2023年7月12日(水) 17:00 まで (もしくは、定員に達した段階で終了)



<注意事項>

※1台のPCで複数人が参加される場合であっても、お一人ずつでのお申し込みをよろしくお願い致します。